

---

# 魔法先生ネギま！～英雄の息子は錬金術師～

R o c k

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

魔法先生ネギま！〜英雄の息子は錬金術師〜

### 【Nコード】

N0836BA

### 【作者名】

Rock

### 【あらすじ】

ネギの弟に転生した男の物語。

鋼錬のエドの仕様で錬金術は使えるが、魔法が使えない体質の持ち主が、ネギま！の、世界でどう生きるのか？

## 第1話 卒業と修行先（前書き）

はじめまして、そして明けましておめでとう御座います。  
初めての投稿のため、不快な感じを受ける方もいるかもしれませんが、読んで、感想くれるとうれしいです。

誤字、脱字の指定は遠慮なく！

## 第1話 卒業と修行先

メルディアナ魔法学校・講堂

Side エド

「卒業生代表挨拶。  
代表、ネギ・スプリングフィールド。」

「はい!!」

俺はエド・スプリングフィールド。  
ネギの双子の弟に転生した人間だ。

転生時の事は覚えてないが、神様は俺の事が嫌いらしい。  
父親のナギさえ凌ぐ魔力を持ちながら、一切の魔法が使えない。  
しかし、名前の通り鋼錬の『エド』の仕様にオツドアイ、それに錬  
金術が使えた。

そのため魔力は身体強化か、精霊を使わない物だけに絞られた。  
魔法を使えないので、5歳の時から鍛錬をしてきて、今では身体強  
化なしでも、かなり戦える。

他の魔法使いからは『落ちこぼれの英雄の息子』、『無能な英雄の  
子』、などと陰口を叩かれたが、戦闘技術は俺の方が上である。

終いにはネギから『立派な魔法使い（マギステル・マギ）に成れな  
いけど、一緒に頑張ろ!!』と、言われた。

原作を知っていたが、何故そんなものになりたい？  
俺には理解できん。

「以上で卒業式を終了とする。」

回想に浸って居たら終了していた。

しかし、こんな時でも陰口が止まないのは、なんでかね？

座学は2位、実技は平均以上、魔法具、魔法薬の成績は3年間トップ。

呪術系は解呪なら出来るし、普通に飛び級して当たり前な成績なのに。

あれか？

魔法が使えないイコール飛び級資格なしなのか？

魔法は使えなくても生活には困らんし、必要ないだろ？

コッソリ、アリアドネーに出した『魔法と錬金術の応用性、戦闘時の汎用性』のレポートはあっちじゃ高評価なんだぞ！

それに、『錬金術と魔法の融合術式』も開発した。

送り主欄には『エドワード・エルリック』だ！！

この学校の教師は、俺が錬金術を使えることも、レポートをアリアドネーに送っているのも知らな。

教える理由が無いし何よりこの学校の教師には、恨みは有っても恩はない！！

あつ、ネギがこっち来た。

こっち来るなよ、何時もお前と比べられる俺の身にもなれよ。

あゝあ、また悪態吐いてるよ、あの教師。

確かに魔法が使えないのに、正面から術式ミスや効率のいい術式の組み方論破したけど。

図書室にいくらでも有るじゃん、そんな参考書。

そんな事を考えながら講堂を後にする俺に、ネギがくつついてくる。

メルディアナ魔法学校・廊下

「ネギとエドは、修行場所何処だった？

私、ロンドンで占い師だったけど。」

「何処の成るのかしら？」

此奴は幼馴染のアーニヤ事、アンナ・ユーリエウナ・ココロウア。そして、従姉妹のネカネ・スプリングフィールドだ。

「俺はまだ浮かんでこないな。

ネギは？」

「僕もまだ。」

「お？浮かんできた。」

そこには原作道理『日本で先生をやる事。』

何考えてんだか。

その後、アーニヤ、ネカネ姉、ネギ、俺で校長に抗議しに行った。

アーニヤには『エドは大丈夫かもしれないけど、ネギは絶対に無理よ！！』と言われ、ネカネ姉は貧血で倒れかけた。

しかし校長は、

「卒業証書に書いてあった事じゃ、変更はできん。

それに『立派な魔法使い』に成りための修行じゃ。

安心せい、修行先は俺の知り合いの学校じゃ。」

いや、全然安心できねえから、それ。

「はい！！！」

ネギは元気だねえ〜。

「俺はヤレと言われた事は、ヤりますよ。  
既に決まったことなら、やりましょう。」

ネギのせいで人生を壊される人間は、最低限でいい。

「エド！」

僕、負けないよ!!!」

「俺は、立派な魔法使いとやらには興味が無い。

俺は魔法がつかえねえーんだから。

それに、負けないって魔法使いとしてか？

何度も言うが、俺は魔法がつかえねえーんだ、勝負にすらなつて無い。

」

「で、でも、いつか必ず使える様になるよ!

だって、僕たち父さんの、サウザンドマスターの息子だよ!」

またか。

父さん、父さんうるせえ。

「一度も合つた事のない人間を、父親とは言わん。

お前は合つたかもしれんが、俺は合つて無い。

それに、魔法なんかなくても生活できるし、仕事も出来る。」

ああ〜イライラする。

「そうかも知れないけど……。」

で、でも「悪い、この話は平行線だ。

それに帰つて、日本に行く準備もしなきゃならん。

俺はパスポートが発行され次第日本に行く。

くれぐれも、初日から遅刻とかやるなよ？」  
……、う、うん……。」

俺はあの時の事件から一人暮らしだった。  
それに、この輪には俺はなじめない。

3日後、パスポートが発行され、俺は誰にも何も言わずに日本に向  
かった。

この先に起こる未来の事を考えながら。



## 第1話 卒業と修行先（後書き）

如何でしたでしょうか？

パスポートがどれ位で、できるか知らないのですが、多分早いと3日位  
でできるかな？

みたいな感じで仕上げました。

次回の投稿は未定ですが、また読んでいただけると嬉しいです。

今回の内容は明日菜、木乃香との接触を予定しています。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0836ba/>

---

魔法先生ネギま！～英雄の息子は錬金術師～

2012年1月1日23時54分発行